

被爆
75年

核兵器禁止条約早く



広島市・原爆ドーム

日本政府は署名・批准を

被爆75年の夏。「生きてい
るうちに核兵器をなくしてほ
しい」との被爆者の訴えを受
け止め、世論と運動のさらな
る発展が強く求められます。

今なお1万4000発近くの
核弾頭が存在し、2000発近
くの核ミサイルが直ちに発射
できる状態にあります。「抑
止力」の名による核兵器への
固執は、新たな核拡散と対立
の原因となっています。核廃

絶の緊急性はいっそう明らか
です。

「核兵器のない世界」を求
める動きは着実に前進してい
ます。核兵器禁止条約は82
カ国が署名、40カ国が批准。
発効は時間の問題です。

唯一の戦争被爆国である
日本政府の責任は重大です。
すみやかに核兵器禁止条約に
参加し、世界の先頭に立つべ
きです。

折り目

制度解説

衆院選挙
投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と
小選挙区は「候補者の名前」で

政党名を
と書きます
衆議院比例代表
は政党名で投票
します。参議院と
違い個人名は無
効です。

感染 震源地 PCR 徹底 検査を

各地域から行動起こそう

コロナ対策 志位委員長が緊急申し入れ



西村康稔経済再生担当相(右)に申
し入れる志位和夫委員長(中央)と
田村智子政策委員長(7月28日、
内閣府「しんぶん赤旗」提供)

新型コロナウイルス感染が
急拡大しています。共産党の
志位和夫委員長は7月28日、
政府に緊急に申し入れを行
い、感染震源地(エピセン
ター)を明確にし、その地域
に住み、働く人たち全員を対
象にPCR検査を実施するこ
とが急務だと求めました。

日本共産党

志位氏は、全国各地域で
「検査の拡充を」「情報開示を」
と求める市民的運動を起こす
ことを呼びかけました。

(裏面詳報)

*エピセンター 感染者・特に無症
状の感染者が集まり、感染が持続
的に集積する地域

近畿民報

2020年8月 No.2(第423号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビース102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

*日本共産党は
以上の見解を
発表しました。